令和8年度 予算を問う

総括質疑 予算特別委員会

予算特別委員会では、2月20日、24日、25日、26日の4日間、23人の委員が予算全般について質疑を行いました。

立憲・国民・ネット・無所属議員団
山本 たかし

給付型奨学金

問 今回の制度の対象に中間所得層を含めた理由と想定している人数・予算規模は。

答 挑戦を支援し、選択肢を広げることで、将来の安定につなげる。対象は約320名、予算は最大で約2億円である。

問 高等学校入学支援金支給や給付型奨学金事業などへの区長の思いと今後の展望は。

答 取り組みを着実に進め、若者が夢や希望を持てる社会を目指し、挑戦を支援する。

学校教育

問 保護者から徴収している教材費、修学旅行費、校外学習費、移動教室費を無償化するようだが、都内で無償化を実施している自治体はあるか。

答 都内で四費目全てに補助を実施している自治体はない。

問 保護者負担ゼロに向け、どのような工夫が可能か。

答 彫刻刀や絵具セット等は共用可能である。学校と協力して負担の軽減を検討する。

問 今後、特別支援学校に通う保護者への負担軽減策についても検討できないか。

答 支出状況を把握するため、他自治体の状況を研究する。

問 令和6年度、中学校でのSNS相談件数は。また、相談が解決につながった事例は。

答 相談件数は1377件で、家庭関連の相談から虐待の疑いを察知し、児童相談所へつなげられたケースなどがある。

問 相談の対象を小学校5・6年生まで拡大した理由は。

答 対面相談しづらくなる学年でも、匿名で安心して相談できるようにするためである。

区民活動センター予算

問 地域ニュース発行経費では、印刷費や配布単価などの物価上昇分を増額できないか。

答 物価上昇の状況も踏まえ、必要な経費を積算していく。

問 近年の猛暑にもかかわらずクールシェアスポットである区民活動センターの一部では冷水器が未設置で水を飲むことができない。対策が急務と考えるが現状と検討状況は。

答 15か所中9か所に設置している。未設置のセンターには6月から9月の間、ウォーターサーバーを設置する。

自由民主党議員団
加藤 たくま

次期区有施設整備計画

問 次期計画では、区有施設を2040年以降順次減少させるとしているが、施設再編について具体的な検討をするとの記述がない。1990年頃から検討が始まった学校再編は、2つの学校を統合するのに20年近くかかっており、施設の再編は地域の理解や社会情勢の調整等、長期の時間を要する。人口減少による歳入減を踏まえ、次期計画期間の5年間で施設再編についての具体的な検討をすべきでは。

答 必要性は認識しているが、具体的な再編内容は検討中で、計画策定後も検討を進める。

抑制できず経常経費を圧迫し続ける一般事業費の増大

問 令和7年度時点で、令和7年度の一般事業費は299億円、令和8年度は303億円の予定であったが、令和8年度予算では351億円となっており、令和7年度の一般事業費から52億円も増加している。膨張した一般事業費を抑えるよう努めるべきでは。

答 物価高騰や人件費上昇が、主な増要因と認識しているが、今後も事業見直しを行うことで、歳出抑制に努め、安定した財政運営に取り組みたい。

公明党議員団
日野 たかし

予算編成方針

問 計画等に位置付けられていない新規事業は、既存事業の見直し等を必須とし、その見直し額を超えないことを定めている。新規事業「なかのプラットフォーム整備」に対する、既存事業の見直し額は約3200万円であり、900万円程度足りていない。財政規律が守られていない状況をどのように考えるか。

答 歳出抑制に取り組み、財政規律の確保に努めていく。

国庫支出金

問 令和7年度補正予算において、まちづくり推進費の国庫支出金が50億円以上減額となった。令和8年度予算のままちづくり推進費の国庫支出金約31億円は、割り落とし分を見込んでいるならば、歳入における充当率の見込み割合は。

答 平均約45%見込んでいる。

問 国庫支出金の減額について、昨年3月末に国土交通省から事務連絡が出ていたが、なぜ議会への報告と財政課等への連携がされなかったのか。

答 今後、適切な時期に報告することを検討する。

財政調整基金

問 令和8年度の年度間調整分の基金残高は288億円の見込みである。150億円を超える分は、当面の間、基金運用に活用してはどうか。

答 長期運用での活用を含め検討していく。

歩きたくなるまちづくり

問 令和8年度改定の公園再整備計画に、歩きたくなるまちづくりの理念を含めるのであれば、利用者が少ない小規模公園を新たな価値のある、利用したくなる公園へと整備してはどうか。

答 身近な公園が魅力的なものとなるよう検討する。

日本共産党議員団
羽鳥 だいすけ

中小企業の賃上げ支援施策

問 他自治体で実績のある賃上げへの直接支援を行っては。

答 伴走型経営支援を通じて、賃上げを可能とするための経営基盤の強化を支援していく。

大和町地域の防災まちづくり

問 防災まちづくりの基本的考え方における避難道路整備についての新たな考え方とは。

答 新たな防火規制による建て替え更新や沿道ブロック塀の撤去により、消防活動を確保する考えである。

問 八幡通りは幅員6mで整備するとのことだが、なぜか。

答 大和町地区内の骨格となる優先整備路線のためである。

問 幅員6m未満の整備でも、防災性向上を図れるのでは。

答 主要防災生活道路に位置付け、6m以上に整備する。

鷺宮地域のまちづくり

問 野方1号踏切の除却は技術的に可能との結論を得たが、どのような方策が示されたか。

答 別線の高架橋を施工する案が実現可能と確認した。

問 線形の変更に伴い、新たに補償範囲が広がるのでは。

答 詳細は把握していない。

問 鷺ノ宮駅南口にエレベーターを設置するよう、都および西武鉄道と協議しては。

答 設置は困難である。